

Denodo Platform: 業界をリードするデータ管理プラットフォーム

分散データを論理的に統合、管理、配信

どのような組織でも、データと関連インフラは絶えず進化しています。そのため、企業データはハイブリッド/マルチクラウド環境の複数のシステムや場所に常に分散しています。Denodo Platformは論理的なアプローチでデータの統合と管理を行う製品です。Denodo Platformを導入すると、データ戦略を進化させる柔軟性が得られ、ビジネスに影響を与えることなく、クラウドへの移行、データサービスマーケットプレイスの構築、分析のためのデータウェアハウスとデータレイクの論理的な統合を実現できます。また、データ複製の削減を通じたデータプロビジョニングの高速化、複数のシステムをカバーする一貫したセキュリティとガバナンスの達成、ビジネスユーザーが希望するアプリケーションを選択できる柔軟性の実現といった効果をもたらします。

アジャイルなデータ駆動型ビジネス変革をもたらす論理ファースト戦略

弊社は論理アプローチによるデータの管理と統合を提唱した企業です。論理アプローチは統合データ配信プラットフォームのビジョンであり、ビジネス利用者による複数のデータシステムへのアクセスを抽象化します。複雑さを隠すことによりビジネスフレンドリーな形でデータを公開しつつ、あらかじめ定義されたセマンティクスとガバナンスルールに従ってデータを確実に配信します。データファブリック、データメッシュ、データハブといったアーキテクチャを支える論理的なデータ統合/管理アプローチを実現しているのが、データ仮想化です。

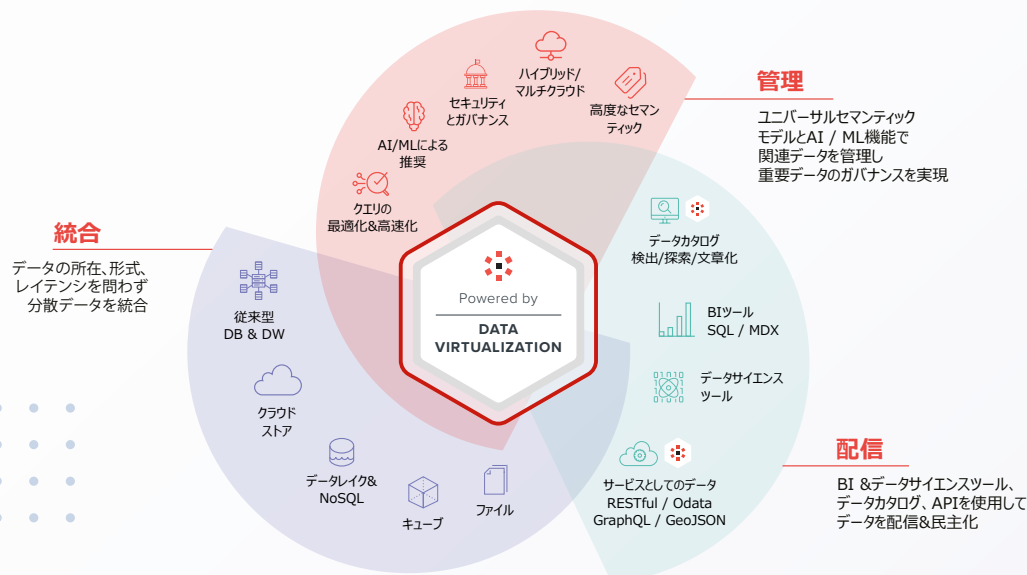
データ仮想化では、複雑さを取り除いて高い生産性を実現することで、データ資産の価値を最大限に引き出します。

- あらゆる分析ツールやデータAPIからデータへの高速なリアルタイムアクセスを実現。データの移動やコピーは行いません
- 高速な開発、保守の削減、柔軟なデータ配信と管理を実現しつつ、エンドツーエンドで可視化
- ガバナンスとセキュリティを確保した、セルフサービスのデータディスカバリーとデータアクセス

Denodo Platform

Denodo Platformは論理データファブリック、データメッシュ、データハブの構築に必要な全機能を提供する、データ仮想化を活用した業界唯一のデータ統合・管理プラットフォームです。提供できる機能としては、企業にデータを迅速に公開する共通セマンティックレイヤー機能、セマンティック検索と全社的なデータガバナンスを目的とした動的データカタログ機能、機械学習を利用した業界最先端のクエリアクセラレーション機能、マルチクラウドシナリオとハイブリッドクラウドシナリオに対応した自動インフラ管理機能、組み込みのデータ準備機能が挙げられます。こうした機能を通じて、セルフサービス分析、プライバシーとコンプライアンスの改善、データ管理プロセスの自動化推進、ベンダーロックインの回避を達成できるのです。

Denodo Platformのアーキテクチャ図



Denodo Platformの利点

最大65%
ETLより高速

最大67%
データ準備時間を削減

6か月
回収期間

出典: Forrester Total Economic Impact™ of Data Virtualization (2021年)

Denodo Platformの強み

統一された扱いやすい最新Webユーザーインターフェース:

シングルサインオンを採用。チームメンバーが安全にデータ資産を利用し、その価値を引き出せるようにします。

非常に高速なクエリレスポンス:

その秘密は、弊社独自のスマートクエリ最適化機能、動的キャッシング、AIを利用したクエリアクセラレーションエンジンです。

統合データカタログ: 実際のリアルタイムデータを格納。完全なリネージ、メタデータ、ガバナンスを扱う上で、信頼できるデータを検索、アクセス、選

別、保管するビジネスフレンドリーな手段を提供します。

生産性の高いノーコード/ローコードの視覚的なDesign Studio:

150以上のソースシステムから短時間でデータを融合してデータビューやデータサービスを開発。従来型のソースから、最新のクラウドやビッグデータのデータベースとアプリケーションまで、構築済みの最適化されたアダプタを幅広く利用できます。

最新のデータサービスレイヤー:

最新標準（OAuth 2.0、SAML、OpenAPI、ODATA 4、GraphQL）を利用したデ

ータAPIをノーコードで自動作成・開発。データアプリを短時間で作成できます。

高度なセマンティックレイヤー:

データディスカバリー、データ検索、データ分類に加えてセキュリティとガバナンスを実現。タグ、推奨、コメント、アクティビティ使用状況などの高度な機能を利用できます。

セマンティックセキュリティポリシー:

セキュリティポリシーのセキュリティ分類、用語集、タグを利用して、アクセス制御（マスキング、暗号化、データ制限など）をグローバルに管理します。

クラウドインフラ管理の自動化:

イメージを用いたクラウドインスタンスとクラスターの起動や、セキュリティ、負荷分散、自動スケーリングのパラメータ設定など、DevOpsを簡素化し、Amazon Web Services（AWS）、Microsoft Azure、Google Cloud Platform（GCP）でDenodo Platformを迅速に導入できます。

主要クラウドマーケットプレイスで試用と購入が可能:

AWS、Azure、GCPに対応しています。

導入事例



Landsbankinn

データメッシュと論理データウェアハウス

この銀行の80%で、データ消費に論理データウェアハウスを利用。

データメッシュアーキテクチャの導入を通じた、セルフサービスの情報消費を活用。



論理データファブリック、データ準備、データサイエンス

セルフサービスの安全なハイブリッドデータアクセスをデータサイエンスチームに提供。

Denodoのデータカタログと接続性を活用した、リアルタイムデータマーケットプレイス



顧客の全体像把握と人工知能

営利ビジネス情報の全体像をビジネスユーザーに提供。

Denodoのコネクテッドデータを活用し、AI支援によって処置を推奨。

優れたサポート・開発エンジニアです。弊社で利用中のドライバーに対応しているかどうかに関係なく、あらゆる課題の解決を支援してくれました。ツール自体も、人月を大幅に削減しながら、全ツールに対応した新規ソリューションを開発できるものです。5段階評価で6点といったところでしょうか。Denodo Supportのスタッフは闇の中の光です。どのベンダーのサポートよりも優れた体験でした”

Autodesk、プラットフォームリード

データ仮想化機能が提供するアクセスレイヤーと配信レイヤーは、論理データファブリックの基盤としての役割を果たせます。そしてこの論理データファブリックが、データ管理分野における重要な自動化機能を実現するのです。たとえば、データ仮想化の中核的な統合機能に加えて、データ推奨、データ品質、データガバナンス&ポリシーの自動化などの機能を提供します”

Gartner: Assessing the Relevance of Data Virtualization in Modern Data Architectures
2021年6月

弊社でのDenodoのロールアウトは、これまで経験した重要な企業ソフトウェアのロールアウトの中でも、最も容易かつ成功した事例の1つです。当初のセキュリティユースケースを即座に解決できました。その後も、特にWebサービス機能を介したデータ抽象化レイヤーとしての機能など、他のユースケースにも対応した強力な能力を実証しています”

Asurion、エンタープライズアーキテクト